

Chance Challenge Change

柔軟な発想で試行錯誤し、変化にチャレンジ!

令和3年度
総合的な探究の時間・ぎふグローバル人材育成推進事業
岐阜聖徳学園高等学校
令和4年3月11日 15号

2年総合 レイテ国立高校との交流会に向けて

3月9日(水曜)2・3限目に、わが校と交流のあるフィリピン レイテ島のレイテ国立高校の生徒とのオンライン交流会「レイテ国立高校の生徒と交流しよう」を実施する予定です。1月21日(金)6限目、2月18日(金)6限目を使い、その事前準備をしました。

※平成29年レイテ高校の生徒が来校したときの交流の様子↓



レイテ国立高校とのオンライン交流会の準備①

1月21日はコロナのためオンライン授業となりましたが、レイテ高校との交流について、この交流で身に付けてほしい能力について話しました。残念ながら去年、今年はコロナのためレイテ国立高校に行くことも、レイテ国立高校から日本に来てもらうことも叶わず、対面での交流はできませんでしたが、その代わりにオンラインで交流を深めていきたいと考えています。3月9日はレイテ国立高校の生徒たちに各自英語で自己紹介をしてもらいます。

『真正の評価』の視点からの学習

真正の評価：

身につけさせたい資質・能力を実際に用いる活動やその成果について、直接的な観察を通して解釈する評価の方法のこと。

本質的な問い：

学びの中核に位置する問いであると同時に、生活との関連から学ぶ意義が見えてくるような問いのこと。

自分の伝えたいことを効果的に表現するにはどうしたらよいか。

永続的理解：

大人になって知識やスキルの詳細を忘れ去ったとしても、なお残っているべきであるような重要な理解のこと。

伝えたいことを効果的に表現するために、重要なかぎとなる言葉を選んだり組み合わせたりする。また、分かりやすくするために資料を提示したり、効果的な身振り手振りをつけて伝えることが有効である。

パフォーマンス課題：

複数の知識やスキルを総合的に使いこなすことを求めるような複雑な課題のこと。

レイテ高校の生徒に自分が伝えたいと考えること(自己紹介、将来の夢、本校の授業、部活動、社会見学、修学旅行、スポーツフェスタ等)を伝えよう。

レイテ国立高校とのオンライン交流会の準備②

2月18日は、岐阜聖徳学園大学教育学部4年生の学生3名に英語サポートとして来てもらいました。交流本番の3月9日もサポートとして同じく4名の学生に参加してもらう予定です。彼らは4月からそれぞれ小学校または中学校で教員として働くことが決まっているそうです。

3名の大学生の皆さんに、大学生活で学んだこと、なぜ聖徳学園大学を選んだのかなどの自己紹介をしてもらいました。年の近い先輩たちの話はとても参考になると思います。

自己紹介の英作文のサポートもしてもらい、最後に数名発表してもらいました。将来の夢や自分の好きな物、なぜそれが好きなのかについてまでも盛り込んであったりと、とても充実した自己紹介になりそうで、本番が楽しみです。

